

3.1.1	請求記号	JP-1005490-東京文化財研究所年史資料
3.1.2	タイトル	東京文化財研究所年史資料 Tokyo National Reserach Institute for Cultural Properties' Historical Papers
3.1.3	年代域	1924（大正13年）～2022（令和4年）
3.1.4	記述レベル	フォンド
3.1.5	数量と媒体	書架延長11m。主に紙媒体資料。一部に光ディスク、USBメモリ、磁気テープ、ガラス乾板、写真フィルムを含む。
3.2.1	作成者名称	東京文化財研究所七十五年史編集委員会、情報調整室、企画情報部、文化財情報資料部
3.2.2	組織歴・履歴	2004年に企画された東京文化財研究所75年史編纂事業において、2005年度より独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所（現在は独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所）内に編集委員会が組織され、資料の収集、調査、作成および執筆、編集、刊行業務を担った。2008～2010年に『東京文化財研究所七十五年史資料編・本文編』を刊行し、編集委員会はその任務を終了した。資料収集の中心となった委員らは、協力調整官―情報調整室（2001～2006）、企画情報部（2006～2007）、企画情報部と美術部が統合した企画情報部（2007～2016）、文化財情報資料部（2016～）に所属し、刊行後も年史資料の充実をはかった。
3.2.3	伝来	帝国美術院附属美術研究所設立前から保管してきた事務文書、所属職員が収集した文書、他機関が所蔵する当研究所関係文書（複製）など、『東京文化財研究所75年史』編纂にあたり、収集・作成された文書類。編纂時の2005～2009年にかけて所内各所、旧庁舎である黒田記念館から集められ、他機関所蔵文書については、複製が作成された。刊行後も、元編集委員により資料が追加されてきた。 2005～2009年（『東京文化財研究所75年史』編纂期）：編集委員会による収集、作成、編成、管理。2006年頃に専用のファイリング・キャビネットを購入し、書庫前室である事務室にて保管。 2010～2014年（『東京文化財研究所75年史』刊行後）：編集委員会の活動停止後、引き続き事務室にて保管。 2014～2021年：事務室の書架増設に伴い、部長室へ移動、保管。 2021年7月31日～8月1日：資料閲覧室書庫へ移動。 2021年8月より、文化財情報資料部アーカイブズ研究室の管理となり、書庫2Fにて保管。職員により保全処置と再整理が行われた。
3.2.4	収集又は移管による入手先	主に、東京文化財研究所およびその前身である美術研究所内で作成した文書。複製に関しては2005～2008年に他機関（東京国立博物館、国立公文書館、東京芸術大学、日本芸術院、東京大学史料編纂所、東京大学総合図書館、東京大学法学部図書館、学習院大学図書館、アジア歴史資料センター、国立教育政策研究所教育図書館・文部科学省図書館）から複製を入手。
3.3.1	範囲・内容	『東京文化財研究所75年史』編纂事業に係る文書、美術研究所設立期の公文書類の複製およびその一覧、研究所の運営、建築物、設備に係る書類、研究に係る文書類、研究会・講話会・研修会などの記録、刊行物およびその原稿、関係機関および助成金に関する文書、業務日誌、職員録、所属研究者の業績記録、新聞雑誌の切り抜きなど。
3.3.3	追加受入	東京文化財研究所の歴史編纂に有用な資料が発見された場合に追加する。
3.3.4	編成	「東京文化財研究所七十五年史」編集委員会が編成した8シリーズに分割される。おおよそ『東京文化財研究所七十五年史』の章立てに則し、編纂事業時の編成を保っている。 書庫移動後の2022～2023年に、刊行後追加・未整理資料をサブ・シリーズあるいはファイルごとに既存の編成に組み込んだ。 シリーズ1：東京文化財研究所七十五年史編纂資料 シリーズ2：写真資料 シリーズ3：歴史資料 シリーズ4：美術研究所設立期間関係資料年代順 シリーズ5：事業別資料 シリーズ6：部署別資料 シリーズ7：関係機関資料 シリーズ8：研究者別資料
3.4.1	公開条件	事前申込制 閲覧は事前申込制（原則閲覧希望日の1週間以上前）。また、著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での公開となるため、閲覧が制限される場合がある。
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	主に日本語
3.4.4	物理的特徴・技術要件	酸性紙の多くに褐色化と紙力低下が見られ、一部は破損している。ジアソ式コピーの一部は文字が消えかけている。ガラス乾板の多くに銀鏡が見られる。光ディスク、USBメモリ、磁気テープ、写真フィルムの利用に際しては、再生機器が必要である。
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体の一覧は、資料閲覧室にて貸出可能。シリーズ以下の資料概要は、順次公開予定。
3.5.4	出版書誌情報	『東京文化財研究所七十五年史』資料編、本文編（中央公論美術出版、2008-2010年） 「東京文化財研究所年史資料 公開に向けての記述編成」田村彩子『国文学研究資料館紀要アーカイブズ編』第20号（国文学研究資料館、2024年）
3.7.1	担当者	井上さやか、中村明子、中村節子、山梨絵美子（東京文化財研究所七十五年史編集委員会） 田村彩子、橘川英規（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年3月29日公開／2024年3月22日改訂／2025年4月16日改訂

内容一覧

シリーズ	サブ・シリーズ	ファイル	サブ・ファイル	資料の分量	配架場所	備考
<b>1：75年史編集資料</b>						
1.1：調査資料一覧				19ファイル	棚1	東文研史：調査資料一覧（下の4ページ参照） 初校、再校
1.2：原稿校正				6冊、2ファイル	棚1	
1.3：編集委員旧所蔵資料				ファイルボックス1個	棚1	原稿校正、挿図の原本、編集雑録、75年史編集会議レジュメ
1.4：作成データ・録音				光ディスク8枚、フロッピーディスク2枚	棚1	年表用、刊行物、職員名簿データ。阿武氏、出井氏、大給氏、稗田氏他インタビュー音源
<b>2：写真資料</b>						
2.1：『東京文化財研究所七十五年史』挿図						『東京文化財研究所七十五年史』挿図のために収集・複写した主に美術研究所時代の写真資料
人物				ファイル1冊	棚1	複製を含む紙焼き写真、35mmネガフィルム、USBメモリ。編集委員によるメモあり。撮影時期は1928年ごろから2001年
人物（名前入り）				ファイル1冊	棚1	写真のゼロックスコピーに撮影年月日、場所、人物名などを記載したもの
建物				ファイル1冊	棚1	主に黒田記念館の外観、内装写真。ネガや紙焼き資料から複写、RCペーパーに焼き付けたものを中心とする。撮影時期は1927年から1990年代
<b>3：歴史資料</b>				ファイルボックス3個	棚1	東文研史：歴史資料（下の5ページ参照）
<b>4：美術研究所設立期間係資料年代順</b>						
4.1：美術研究所設立期間係資料年代順					棚2, 3	主に他機関所蔵資料の複写物、一部翻刻のプリンタ出力を年代順に整理したもの。他に要覧や職員録等の東文研所蔵資料の原本や複写物がある。
年代不明／1924年～1932年				ファイル1冊	棚2	
1933年～1934年				ファイル1冊	棚2	1933年の資料は、シリーズ3.歴史資料も参照のこと
1935年～1942年				ファイル1冊	棚2	1937年の資料は、G4-6も参照のこと
1937年				5ファイル	棚2	未整理資料よりG4-6「1937年資料」、一覧表付き
1943年				ファイル1冊	棚2	
ファイルA,B,C_1944年				ファイル3個、封筒2枚	棚2	容器のみ。中身はシリーズ3.歴史資料の番号ABCの可能性がある
1944年～1947年				ファイル1冊	棚2	
昭和22年5月雑書				1括	棚2	東博－I0003～I0009, I0011～I0069のプリンタ出力、一覧表付き
昭和23年度出勤簿_附属美術研究所				1括	棚2	東博－I0076のプリンタ出力、一覧表付き
1948年				ファイル1冊	棚2	
1949年				ファイル1冊	棚2	
1950年～1951年				ファイル1冊	棚2	
1952年～1964年				ファイル1冊	棚2	
1965年				ファイル1冊	棚2	
1966年				ファイル1冊	棚2	
1967年				1ファイル	棚2	
1968年				1ファイル	棚2	
1969年				2ファイル	棚2	
1970年				1ファイル	棚2	
1971年				1ファイル	棚2	
1972年				1ファイル	棚2	
1973年				1ファイル	棚2	
1974年				1ファイル	棚2	
1975年				1冊	棚2	『東京国立文化財研究所要覧』
1976年				1冊	棚2	『東京国立文化財研究所要覧』
1977年				1冊	棚2	『東京国立文化財研究所要覧』
1978年				1冊	棚2	『東京国立文化財研究所要覧』
1979年				1冊	棚2	『東京国立文化財研究所要覧』
1980年				1ファイル	棚2	
1981年				1ファイル	棚2	
1982年				1ファイル	棚2	
1983年				1ファイル	棚2	
1984年				1ファイル	棚2	
1985年				1ファイル	棚2	
1986年				1ファイル	棚2	
1987年				1ファイル	棚2	
1988年				1ファイル	棚2	
1989年				1ファイル	棚2	
1990年				1ファイル	棚2	
1991年				1ファイル	棚2	
1992年				1ファイル	棚2	
1993年				1ファイル	棚3	
1994年				1ファイル	棚3	
1995年				1ファイル	棚3	
1996年				1ファイル	棚3	
1997年				1ファイル	棚3	
1998年				1ファイル	棚3	
1999年				1ファイル	棚3	
2000年				1ファイル	棚3	
2001年				1ファイル	棚3	
2002年				1ファイル	棚3	
2003年				1ファイル	棚3	
2004年				1ファイル	棚3	
2005年				1ファイル	棚3	
2006年				1ファイル	棚3	
2007年				1ファイル	棚3	
2008年				1ファイル	棚3	
2009年				1ファイル	棚3	
2010年				1ファイル	棚3	
2011年				封筒1封	棚3	
2012年				封筒1封	棚3	
2013年				封筒1封	棚3	
<b>4.2：沿革・組織</b>					棚3	
挿図資料				7ファイル		挿図一覧・画像のプリンタ出力、CD-ROM
田村悦子氏寄贈画像				CD-ROM2枚		
東文研調査_国立公文書館複写依頼分（美術研究所時代のもの）				光ディスク1枚		
資料閲覧室画像				CD-ROM1枚		
東文研要覧等「沿革」抜粋コピー				1ファイル		沿革に関する記述部分を複写したもの。一部原本を含む。1930～2005年分
<b>4.3：土地・建物</b>					棚3	
東京芸術大学所蔵「東京美術学校土地建物関係書類」美術研究所設立関係				1ファイル		複写コピー
雑資料				5cm		図面、文章のコピーおよびプリンタ出力、東文研建物案内（原本）など調査資料
東文研_新営書類_床面積決定資料（写真室、情報資料部配布分）				封筒1封		鈴木廣之氏旧蔵
黒田記念館改修				ファイルボックス2個		改修に関する諸資料。主にコピーとプリンタ出力
黒田記念館増築工事記録写真				ポケットアルバム12冊		スナップ写真カラー・印画紙254枚

4.4：職員		棚3	
名誉研究員__典拠	1ファイル	『東京文化財研究所七十五年史資料編』p.865「歴代名誉研究員一覧」典拠。主に複写コピー	
職員__典拠	ファイル2冊、1ファイル、コピー3括	『東京文化財研究所七十五年史資料編』p.867「職員名簿」典拠。主に複写コピー	
機構__典拠	2ファイル	『東京文化財研究所七十五年史資料編』p.879「機構の変遷」典拠。主に複写コピー	
定員__典拠	10括、1冊	『東京文化財研究所七十五年史資料編』p.881「定員構成の変遷」典拠。主に複写コピー	
予算__典拠	2ファイル	『東京文化財研究所七十五年史資料編』p.883「予算」典拠。主に複写コピー	
受領書	ファイル1冊	『東京文化財研究所七十五年史』受領書、礼状など	
住所録		職員録、旧職員の住所調査	
	ファイル「旧職員」	1ファイル	旧職員の住所調査
	美術研究所職員名簿（原本）	封筒1封	1946、1949、1951、1953～1955、1958～1962年、1963または1964年職員録
	職員録（原本）美術研究所～東京文化財研究所	ファイル1冊	昭和40～42年、平成3,6,9～15年職員録
魚々会資料	封筒2封	資料番号G1-1、G4-18展覧会の目録、金銭出納帖など。魚々会は東京国立文化財研究所、国立近代美術館の職員有志による絵画愛好会で主なメンバーに、隈元謙次郎、関千代、田中一松、中村伝三郎などがいた。	
5：事業別資料	書架延長257cm	整理中	
『75年史本文篇Ⅲ調査研究』典拠資料		棚4, 5, 6	
美術研究所事業関係資料		棚5	未整理資料より
『日本美術年鑑』関係資料		棚6	
G1-1 G2-3 文書資料 G4-19～G4-21	5ファイル	棚6	G1-1[中村氏旧蔵雑資料]/G2-3 [美術館博物館の収蔵作品を中心とした近代美術に関する資料] /G4-19『英文日本美術年鑑』図版試作/G4-20：昭和十二年美術年鑑ツカ見本/G4-21 [帝国美術院等年譜]
G3-1～G3-4 挿図ガラス乾板	木箱4箱（216枚）	棚6	洋画44枚、東洋美術64枚、工芸62枚、建築46枚
G1-21 美術関係団体会員名簿・住所録	133アイテム	棚6	1940～1943年頃、美術団体の構成員氏名と住所録。手稿、印刷物を中心とする。
日本美術資料		棚6	第一輯～第3輯正誤表
『国立文化財研究所20年のあゆみ』編纂・典拠資料	2箱、1括	棚6	2023年追加資料
『東洋美術文献目録』目次草稿	1巻	棚13	
『明治大正美術史編纂事業』関係資料	28ファイル	棚16	5.-明治大正美術史編纂事業関係資料（下の7ページ参照）
6：部署別資料	書架延長257cm	整理中	
「近代日本美術資料」関係資料		棚13	
光学調査関係		棚14	紅白梅屏風／源氏物語絵巻／三浦定俊旧蔵資料 印刷紙、フィルムを含む
美術部・文化財情報資料部もの資料		棚13	印箱、室札、名札等
文化財情報資料部研究会記録資料		棚13	
国際シンポジウム記録資料		棚17	磁気テープを含む
7：関係機関	書架延長171cm		
7.1：美術懇話会関係資料	29ファイル	棚11	7.1美術懇話会（下の9ページ参照）
7.2：東洋美術国際研究会関係資料	87ファイル	棚12	7.2東洋美術国際研究会（下の11ページ参照）
7.3：帝国美術院関係資料	6冊	棚11	『帝国美術院一覧』昭和2, 3, 5, 6, 7, 8年
7.4：東京芸術大学関係資料	1ファイル	棚11	
G4-4 東京美術学校文庫刊行物受領書			
	『御成婚奉祝献品図録』受領書	1綴	『御成婚奉祝献品図録』（1929年刊、編集権発行人：東京美術学校文庫北浦大介）受領書
	『大婚二十五年奉祝献品図録』受領書	1綴	『大婚二十五年奉祝献品図録』（1929年刊、東京美術学校文庫編）受領書
7.5：東京国立博物館関係資料	3ファイル	棚11	2021年8月書庫へ移動後、未整理資料から東京国立博物館関係資料を抽出。 関連資料：5. 事業別資料＞『日本美術年鑑』関係資料＞G2-3-5『国立博物館新収品目録』資料__昭和22-24年度 G2-3-7『国立博物館新収品目録』資料__昭和18年以降現在迄
G1-20 東京国立博物館100年史資料篇	6アイテム		手書き資料のジャンプコピー、B4サイズ
G4-11 東京国立博物館展示資料	10アイテム		[1947～1949]年、手稿、孔版印刷
G4-13 作品調査[1948]	4アイテム		寄託品リスト／支出細目/出品作品借用簿/作品借用簿
7.6：華族会館関係資料	9ファイル	棚11	7.6華族会館（下の13ページ参照）
7.7：国民精神文化研究所関係資料	5ファイル	棚11	文献複写コピー、プリントアウト
7.8：国際文化振興会関係資料	14ファイル	棚11	7.8国際文化振興会（下の14ページ参照）
7.9：内閣情報局関係資料	3ファイル	棚11	文献複写コピー、プリントアウト
7.10：啓明会関係資料	13冊、2ファイル	棚11	7.10啓明会関係資料（下の15ページ参照）
7.11：末延財団関係資料	3ファイル	棚11	7.11末延財団関係資料（下の16ページ参照）
7.12：ウィット・ライブラリー関係資料	3ファイル、1冊	棚11	
7.13：その他関係資料	2冊	棚12	『第75議会文化部第3課関係答弁資料__昭和15年2月』文化部第3課、孔版印刷冊子 “Ausstellung Altjapanischer Kunst” Berlin 1939（『日本古美術展覧会』）
8：研究者別資料	書架延長135cm		
8.1：旧職員履歴書（東京美術学校関係）	封筒1封	棚7	東京美術学校旧職員履歴書索引、旧職員履歴書複写コピー
8.2：田中一松資料内研究所関係資料	封筒1封	棚7	複写コピー
8.3：研究者別業績（50音順）	218ファイル	棚7, 15	弊所研究員および関係者の業績、履歴調査のため収集した資料で、要覧などの刊行物からのコピーを含む。個人名ごとのファイルに収納されている。

東文研史資料＞シリーズ1：75年史編集資料＞サブ・シリーズ1.1：調査資料一覧

3.1.2	タイトル	調査資料一覧
3.1.3	年代域	2005年～2012年
3.1.4	記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5	数量と媒体	19ファイル。プリンタ出力による紙媒体。
3.2.1	作成者名称	東京文化財研究所七十五年史編集委員
3.2.3	伝来	2021年7月まで部長室にあるファイリング・キャビネットにて保管。2021年7月31日～8月1日に資料閲覧室書庫へ移動。
3.3.1	範囲・内容	『東京文化財研究所75年史』編集事業のために調査、収集した資料の一覧表を中心とする。資料の出所や所蔵機関ごとに、調査収集アイテムの記録を一覧にしたもの。複写物、データあるいは資料現物ではない。
3.3.4	編成	ファイリング・キャビネットの引き出し番号B-31にて保管時の順序を維持し、書庫への移動後に目録の採取を行った。ファイルタイトルは、クリアホルダーに貼付されたシールの記述に基づく。
3.4.1	公開条件	事前申込制 閲覧は事前申込制（原則閲覧希望日の1週間以上前）。また、著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での公開となるため、閲覧が制限される場合がある。（→閲覧申請）
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	日本語
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体の一覧は、資料閲覧室にて貸出可能。
3.5.4	出版書誌情報	『東京文化財研究所七十五年史』資料編、本文編（中央公論美術出版、2008-2010年）
3.7.1	担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会）、田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年3月23日

内容一覧

番号	タイトル	備考	調査/作成年	形態	数量	序数
1	年史項目（参考）	機構内など各所・館年史の目次項目比較表	不明	プリンタ出力B4__1枚	2	部
2	年史__井上収集	外部機関からの収集資料、外部機関担当者一覧	不明	プリンタ出力A4__4枚	1	部
3	国立公文書館調査	収集資料一覧、複写出力申込書など	2005年6月～7月	プリンタ出力、複写用紙、コピーなど	1	括
4	文部省職員録調査一覧		不明	プリンタ出力A4__2枚	1	部
5	東京国立博物館調査（資料館館資資料マイクロフィルム）		2005年8月～11月	プリンタ出力、手書きなど	1	括
6	東京国立博物館調査2005.8～11（列品課倉庫内資料分）		2005年8月～11月			
	東京国立博物館収集資料（列品課書庫＝「東博-レ」分）一覧			プリンタ出力	1	部
	東京国立博物館資料一覧			プリンタ出力	1	部
	東京国立博物館資料一覧__※東博へわたしたリスト			プリンタ出力	1	部
7	東京国立博物館調査__2005.8.9予備調査（列品課書庫__東博100年史分）		2005年8月9日			
	東博100年史関連資料ダンボール箱リスト	「百年史関係資料」ダンボール箱貼付リストを撮影したもののプリンタ出力		プリンタ出力	1	部
	箱番1～34（14、25、31欠）	一覧表。コピーまたはプリンタ出力		コピーまたはプリンタ出力A4__7枚	1	部
8	東洋美術国際研究会関係	資料一覧、他	2005年6月～8月	プリンタ出力A4__7枚	1	括
9	西アジア資料2006年8月～9月整理 正木直彦「工芸調査会」含（現：原版本保管）	資料一覧、和田新・尾高鮮之助撮影関係資料	2006年	プリンタ出力	1	括
10	日本芸術院調査__2005年7月～8月（収蔵庫内調査）	収集資料一覧、記録写真	2005年	プリンタ出力	1	括
11	教育図書館調査（正木篤三他関係）		2008年9月			
	国民精神文化研究所・教学錬成所__概要メモ	（07.03教育図書館にて資料収集）	2007年7月4日	プリンタ出力	1	部
	教育図書館（国立教育政策研究所教育情報研究センター）収集資料一覧		2007年7月	プリンタ出力	1	部
12	2008.3.3～3.8ウィットライブラリー訪問	記録写真	2008年	プリンタ出力	1	部
13	東京芸術大学調査2007.9（百年史室より借用）		2007年9月	プリンタ出力	1	部
14	関野克資資料調査2006.12～2007.1（国際資料室資料分）	一覧、調査資料	2006年12月～2007年1月	プリンタ出力	1	括
15	文部省図書館調査2006.6職員録収集	一覧、調査資料、職員録複写コピー	2006年6月	プリンタ出力	1	括
16	アジ歴調査__2007.webDB分	調査資料	2007年	プリンタ出力	1	括
17	美術部研究会レジュメ__1947～1974年分__中村伝三郎資料か／2005整理					
	その他コピー／2005.10.27黒田記念館中村伝三郎資料？より発見分		2005年	プリンタ出力A4__1枚	1	部
	美術部研究会レジュメ／2005.10.27__黒田記念館__中村伝三郎資料？より発見分		2005年	プリンタ出力A4__2枚	1	部
18	2012年7月黒田記念館から引き揚げたもの覚書	物品請求書原簿、物品供用簿、「美術研究」編集ノートの記録	2012年	プリンタ出力A4__1枚	1	部
19	黒田清輝記念館工事等建築図面データ一覧	図面データの一覧表	2007年	プリンタ出力	1	部

東文研史資料＞シリーズ3. 歴史資料

資料概要

3.1.2	タイトル	歴史資料
3.1.3	年代域	1928年～2009年
3.1.4	記述レベル	シリーズ
3.1.5	数量と媒体	60ファイル
3.2.1	作成者名称	下記「内容一覧」の「作成」欄を参照
3.2.3	伝来	2021年7月まで部長室にあるファイリング・キャビネットにて保管。2021年7月31日～8月1日に資料閲覧室書庫へ移動。ファイリング・キャビネット引き出し番号A-1保管の資料を基とする。ラベル番号のA, B, Cは、シリーズ4：美術研究所設立期関係資料年代順＞4.1：美術研究所設立期関係資料年代順＞ファイルA, B, C_1944年の内容物の可能性がある。
3.3.1	範囲・内容	『東京文化財研究所75年史』編集事業のために収集、調査した資料。現・東京文化財研究所を運営する上で生じた紙媒体資料。
3.3.4	編成	A1～A8、B9-1～B10、C11～30の番号は七十五年史編集委員によって付与されたようだ。番号のない資料は、数字のみの番号を付与し、番号順に並べた。未整理資料から編入した資料には、旧抽斗番号を先頭とした整理番号を付与した。
3.4.1	公開条件	事前申込制 閲覧は事前申込制（原則閲覧希望日の1週間以上前）。また、著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での公開となるため、閲覧が制限される場合がある。（→閲覧申請）
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲、物理的要因による制限がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	主に日本語。「19. 外国往復書簡_1933年（昭和8年）」については、英語、ドイツ語を含む外国語が多い。
3.4.4	物理的特徴・技術要件	主に紙資料。脆弱な紙質が多いため、閲覧・複写には十分な注意が必要。
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体の一覧は、資料閲覧室にて貸出可能。20. 「昭和四年十月__帝国美術院及美術研究所関係__第一巻」には、別途紙媒体リストが資料現物に添えられている。
3.7.1	担当者	東京文化財研究所七十五年史編集委員、田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年3月23日

内容一覧

ラベル	タイトル	作成	作成年月日	数量	備考	タグ	封筒書き
A1	帝国美術院提出寄附願附属財産目録 作製資料	美術研究所	昭和4年	1	原稿ファイル_1冊	美術研究所／財産目録	copy有
A2	委任状_樺山愛輔発_久米桂一郎宛 黒田清輝遺言執行代表委任	樺山愛輔	昭和4年5月25日	1	黒田清輝遺言執行代表委任／紙_1枚	黒田清輝／久米桂一郎	copy有
A3	願_久米桂一郎発_帝国美術院長福原鏡二郎宛	久米桂一郎	昭和4年9月	1	帝国美術院寄託黒田清輝遺産の美術研究所維持経営の為に使用許可を願うもの／紙_1枚	美術研究所／久米桂一郎	copy有
A4	帝国美術院提出寄附願関係書類	久米桂一郎	昭和4年5月20日	1	原稿ファイル_1冊	美術研究所	copy有
A5	落成内披露式記録	美術研究所	昭和3年12月1日	1	昭和3年12月1日13:00～黒田清輝記念館建築落成内披露式式次第／原稿ファイル_1冊	黒田清輝記念館落成	copy有
A6	美術研究所案内（稿本）	美術研究所	昭和4年6月	1	「一、設立趣旨及び沿革 二、事業計画 三、館内説明」／ファイル1冊	美術研究所	copy有
A7	附属資料／寄附願・設立趣旨及び沿革・寄附資産目録	美術研究所	昭和5年3月／昭和4年5月	1	美術研究所設立時附属資料／帝国美術院提出関係書類__コピー／原稿ファイル_1冊(2資料)	美術研究所	copy有
A8	国有財産図面封入	美術研究所	昭和16～17年前後	5	「文部省美術研究所建物配置図_尺度六百分ノ一__敷地面積延坪 487坪5合4勺1才__2枚(正本・副本)／「文部省美術研究所建物配置図_尺度六百分ノ一__建物内訳書付図(昭和16年10月4日 5 現在)」_1枚／「文部省美術研究所建物平面詳細図_縮尺二百分之一」_原本1枚__昭和17年7月23日出来／「美術研究所新営工事予算書附図_縮尺百分ノ一」_青焼き1枚__写真棟付設倉庫増築要求時のもの	黒田清輝記念館図面	図書資料としてTB211 ク  貴重書『黒田記念館新築設計図』あり。 <a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=1000044257">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=1000044257</a>
B9-1	年報様式	美術研究所	昭和12年度～昭和19年度	1綴	昭和12年度～19年度_年報関係書類／ファイル__1冊	年報	copy有
B9-2	・昭和12年度美術研究所年報	美術研究所	昭和13年8月19日付報告	1綴	活字／一部手書きあり	年報	copy有
B9-3	・昭和13年度美術研究所年報	美術研究所	昭和14年6月23日付報告作成源原義起案	1綴	手書き_2種	年報	copy有
B9-4	・昭和14年度美術研究所年報	美術研究所	昭和15年5月20日付報告	1綴	活字／手書き	年報	copy有
B9-5	・昭和15年度美術研究所年報	美術研究所	昭和16年5月15日付報告	1綴	活字	年報	copy有
B9-6	・昭和16年度美術研究所年報	美術研究所	昭和17年5月20日付報告	1綴	活字	年報	copy有
B9-7	・昭和17年度美術研究所年報	美術研究所	昭和18年10月28日付報告	1綴	活字／手書き__※手書き原義標題「年報進達票」昭和18年11月8日付報告予定	年報	copy有
B9-8	・昭和19年度年報_職員表（人員数）	美術研究所	昭和19年5月23日付報告予定	1綴	手書き／昭和19年4月30日現在	職員	
B9-9	・昭和19年度年報_職員表（人員数）	美術研究所	昭和18年9月30日付報告	1綴	手書き／昭和18年4月30日現在	職員	
B10	文部省直轄各部年報諸表様式	文部省	昭和18年	1	年報様式付属資料／昭和18年8月31日文部省訓令による	年報	
C11	美術研究所書庫内書架装置工事	美術研究所	昭和10年	1	原稿_3枚／昭和10年11月6日注文→昭和10年12月1日竣切	黒田記念館／書架設置	
C12	昭和13年概算書	美術研究所	昭和12年度	2	訂正用原本・副本_各1冊	美術研究所予算	抜粋文字起こし有（ファイル昭和12年／1937）
C13	昭和14年度概算要求増減額事項別参照書	美術研究所	昭和13年	1	孔版印刷_1綴	美術研究所予算	抜粋文字起こし有（ファイル昭和13年／1938）
C14	昭和14年度美術研究所概算要求額明細書	美術研究所	昭和13年5月21日	1	手稿原稿_1枚／「一、書庫増築費、二、自動車書庫新営費__三、会計主任官舎新営費__四、科学研究所実験室新営費」	美術研究所予算	
C15	[表紙なし_昭和14年度概算要求書か]	美術研究所	[昭和13年]	1	孔版印刷_1綴。前出「昭和14年美術研究所概算要求額明細書」と同項目あり	美術研究所予算	文字起こし有（ファイル昭和13年／1938）
C16	昭和17年度概算書	美術研究所	昭和16年	1		美術研究所予算	
C17	昭和17年度概算要求増減額事項別参照書	美術研究所	昭和16年	1		美術研究所予算	
C18	昭和18年度概算書	美術研究所	昭和17年	2		美術研究所予算	
C19	昭和19年度概算要求増減額事項別参照書	美術研究所	昭和18年	2	うち1冊「訂正本」	美術研究所予算	文字起こし有（ファイル昭和19年／1944）
C20	大東亜美術史／編纂観光二要スル経費	美術研究所	—	1	年度不明／5ヵ年計画	美術研究所予算概算／大東亜美術史	文字起こし有（ファイル昭和18年／1943）

C21	昭和12年8月予算ノ話(講義ノ要綱) 大蔵書記官氏家武	氏家武	昭和12年8月	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C22	金銭出納について 副検査官花田七	花田七五三	[昭和12年]	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C23	昭和12年度直轄各部会計事務担当者講習会実務協議題__文部省会計課	文部省会計課	昭和12年	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C24	会計事務ヲ一層改善刷新スル方案如何(文部省提案)	文部省	[昭和12年]	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C25	第三講__複式記帳法概説	[文部省会計課か]	[昭和12年]	2	孔版印刷__1綴	会計関係	
C26	学校図書館に就て__小野東京帝大司書官	小野東京帝大司書官	—	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C27	昭和10年本邦国際収支(単位千円)__大蔵省調	大蔵省	昭和10年	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C28	昭和10年度某大学決算ニ対する会計検査院非難	会計検査院	昭和10年	1	孔版印刷__1綴	会計関係	
C29	書類バラ__啓明会宛__1月27日発信	美術研究所	—	1	原稿用紙__1枚、白紙__1枚／「保存用」／啓明会宛の4力年・総額8,000円の補助金関係	啓明会	
C30	昭和12年7月__美術研究所概要	美術研究所	昭和12年7月末日	1	孔版印刷__1綴	美術研究所	
1	昭和10年度__美術研究所書庫内書架装置工事之図__縮尺__書架詳細二十分の一(青焼き)	美術研究所		1	青写真1枚	黒田記念館書庫図面	2010年黒田記念館内未整理資料より発見__光にあてると退色するので注意
2	美術研究所第一次疎開品目録	美術研究所	[昭和19年]		封筒__1枚／日程人員メモ__1枚／目録__1綴(13枚)	美術研究所／疎開	
3	開所記念黒田清輝展	美術研究所	昭和24年10月	1	手書き、孔版刷などの用紙を綴じた簿冊と挟み込み用紙、1冊。国立博物館、美術研究所書線用紙を含む。	開所記念行事	
4	黒田清輝作品		昭和22年	1	管理台帳のコピーを綴じたもの1冊。国立博物館への引継ぎリスト。	黒田清輝	2012.12.研究紙片推進部倉庫(庶務倉庫)より返却__黒田他管理台帳の写し
5	昭和8年度__備忘録	美術研究所	昭和8年6月26日～12月27日	1	業務日誌__簿冊1冊。項目：受信、発信、寄託、撮影、外出、寄贈、其他ノ支拂、交通費、購入、購入品入手、請求書提出、備考、發電、入電。	日誌	
6	昭和30年1月__東京国立文化財研究所要覧	東京国立文化財研究所	昭和30年1月	1	表紙に「隈」(〇囲み)鉛筆書きあり	要覧	
7	東京国立文化財研究所要覧__1955年	東京国立文化財研究所	1955年	1	コピー1冊	要覧	
8	東京国立文化財研究所要覧__(1956—1957年度)	東京国立文化財研究所	1957年	1	原本1冊__裏表紙欠損	要覧	
9	東京国立文化財研究所要覧__1958—1965__昭和33年度—昭和40年度	東京国立文化財研究所	1965年	1	原本1冊、正誤表1枚、手書きメモ1枚	要覧	
10	研究所・懇話会に関する諸記事(新聞・本・雑誌より)		昭和2年10月22日～2009年1月30日	1	コピー、原本	美術研究所／懇話会	
11	「東京国立文化財研究所の組織及び事務・事業の見直しについて」__東京国立文化財研究所	東京国立文化財研究所	平成元年3月	1	コピー		
12	アーカイブズ研究会会議[議事録]	東京文化財研究所	2007年4月23日	1	プリンタ出力		
13	[議事録]	東京文化財研究所	2006年10月31日	1	プリンタ出力		
14	「国立文化財研究所と国立博物館の統合について(未定稿)」		不明	1	コピー [文化庁書線用紙]		
15	「諸外国における文化財研究所の在り方調べ」		不明	1	コピー [文化庁書線用紙]		
16	「国際シンポジウム開催」「博物館、文化財保存科学者の交流」	東京国立文化財研究所		1	コピー		
17	情報資料部引継事項	東京国立文化財研究所	昭和53年4月5日	1	コピー「東京国立文化財研究所」書線用紙、他		
18	書棚の陰の日記[業務日誌]	美術研究所	昭和17年4月13日～昭和22年4月15日	1	コピー「美術研究所」「帝国美術院附属美術研究所」書線用紙	美術研究所／疎開／日誌	
19	外国往復書簡__1933年(昭和8年)		1933年	1	紙製ファイルに綴じられた美術研究所と海外美術機関との書簡および発信書簡の控え。直筆、英文タイプなど。英語、ドイツ語、日本語。	美術研究所／矢代幸雄／青山新	
20	昭和四年十月__帝国美術院及美術研究所関係__第一巻		昭和4年10月～昭和7年3月11日	1	新聞記事スクラップ原本。編集委員メモ、一部プリントとリストあり。	新聞記事	
21	東文研所内報__第1集__昭和50年度・昭和51年度研究活動	東京国立文化財研究所	昭和51年10月	1	冊子原本	所内報	
G4-9	酒田疎開日記	美術研究所酒田分室	1945年7月4日～9月19日	1	複写コピー。美術研究所酒田分室日誌。隈元謙次郎、梅津二郎記	日誌／疎開	原本所在不明

## 東文研史資料＞5.事業別＞明治大正美術史編纂事業関係資料

田 代 本 館 蔵 書 通 号	フ ォ ト ノ ム ル	サ ブ フ ォ ト ノ ム ル	フ ァ イ ル 名 称	枝 番 号	ファイル名称	備考	作成/出版年	形態	数量
					サブ・ファイル名称				
					アイテム名称				
G1	3				明治大正美術史編纂部研究報告	背ラベル「研究報告」、表紙ラベル「明治大正美術史編纂部研究報告」	1936-1943	神田タカラ商会布張りバインダー	1冊
G1	3	1			研究報告（控）	孔版印刷に手稿。昭和11年10月2日～17年8月1日隈元謙次郎、昭和11年10月2日～17年5月1日小高根太郎、昭和11年10月7日～13年3月2日須賀（利雄）、昭和11年10月2日～13年1月6日美澄正博、昭和13年1月10日～16年6月1日、日付不明分1通和田新	1936-1938	美術研究所罫線用紙	1冊
G1	3	2			研究報告（控）未綴じ分	未綴じ挟み込み。孔版印刷に手稿。昭和17年11月12日～18年4月9日隈元謙次郎。昭和18年4月9日河北倫明。	1942-1943	美術研究所罫線用紙	7枚
G1	12				「旧借用簿等4冊」	東京国立文化財研究所封筒入り	-		1封
G1	12	-	1		借用資料出納簿／明治大正美術史編纂部	借入年月日、返却年月日、所蔵者氏名、品目、数量、整理番号、借入者、備考。昭和7年10月2日～昭和16年9月19日。インク、鉛筆手稿、印。挟み込み資料は、枝番号（1）～（3）とする。	1932-1941	大学ノート	1冊
G1	12	-	1	(1)	「原在寛ヨリノ資料借用目録」	G1-12-1-1に挟み込み。毛筆書き。3枚目に「外二今尾景年二関スル写真4枚」	-	近又旅館便箋	3枚
G1	12	-	1	(2)	隈元謙次郎様宛、寺崎廣載	G1-12-1-1に挟み込み。G1-12-1（3）とともに折り畳んだ状態。10月15日。インク手稿。	[1933]	映画評論社用紙	1枚
G1	12	-	1	(3)	借用書（控）寺崎廣載殿	G1-12-1-1に挟み込み、G1-12-1（2）とともに折り畳んだ状態。昭和8年10月27日。和文タイプ、インク手稿。	1933	帝国美術院附属美術研究所用紙	1枚
G1	12	-	2		借用品寄託品記入簿／明治大正美術史編纂部	昭和8年9月20日～11月6日。1ページのみ記入、残り白紙。インク、ボールペン、鉛筆手稿。	1933	大学ノート	1冊
G1	12	-	3		黒田ノート	黒田清輝書簡、日記の調査ノート。インク、ボールペン、鉛筆手稿。	-	大学ノート（NOTEBOOK-SPECIAL MADE-）	1冊
G1	12	-	4		タイトルなし(Gold Eagle notebook, Special Made for Eagle in England)	日本美術調査ノート。インク、鉛筆手稿、印。	-	大学ノート	1冊
G1	16				明治大正美術史編纂委員会座談会 1934年7月2日開催				
G1	16	1			美術関係者招待会（座談会）準備資料	招待者名簿、事業報告要項、題目、進行、委員長挨拶要項を記した用紙。インク、鉛筆手稿。	[1934]	美術研究所内美術懇話会罫線用紙、帝国美術院附属美術研究所罫線用紙	9枚
G1	16	2			出欠はがき		1934		19枚
G1	16	2	1		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 結城貞松	消印昭和9.6.28	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	2		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 廣瀬喜六	消印昭和9.6.29	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	3		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 田沢良夫	消印昭和9.6.28	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	4		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 原田信造	消印昭和9年	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	5		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 田口菊江	消印昭和9.6.27	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	6		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 小島静三郎	昭和9.6.27	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	7		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 金井泰三郎	消印昭和9.6.27	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	8		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 添田達雄	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	9		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 坂井犀水	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	10		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 石川幸三郎	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	11		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 坂崎坦	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	12		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 中川愛水	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	13		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 仲田勝之助	消印昭和9.6.30	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	14		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 塔影社 富田啓子	消印昭和9.6.30	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	15		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	欠席 高村光雲	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	16		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 和田英作	消印昭和9.6.26	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	17		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 下村宏	消印昭和9.6.27	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	18		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 香取秀治郎（秀真）	消印昭和9.7.2	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	16	2	19		明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	出席 大下正男	消印昭和9.6.27	官製はがき日本郵便1銭5厘	1枚
G1	17				明治期美術史資料	簿冊だったものを中性紙封筒へ入れ替え、簿冊表紙のラベルは中性紙封筒へ張り替え。簿冊表紙、綴り紐は劣化、汚損のため廃棄。	-		4封
G1	17	1			明治1-10	明治5年（1872）の出来事を1日1枚の用紙に記述したもの。インク、鉛筆手稿、印。	-		
G1	17	1	1		明治5年2月8日／1872	博覧会事務局を正院中に置く	-	明治大正美術史資料用紙	1枚
G1	17	1	2		明治5年3月10日／1872	○文部省博物館に於て博覧会を十日より二十日（朝九時より午後四時迄開催す（新聞雑誌第二十一号）○西京に於て三月十日より五十日の間動植物金石類其他中外今古の品物博覧の大会あり（新雑誌第二十四号）	-	明治大正美術史資料用紙	1枚
G1	17	1	3		明治5年3月11日／1872	○浅草傳法印に於て十一日より百日間博覧会を開く（新、雑誌第二十四号）	-	明治大正美術史資料用紙	1枚
G1	17	1	4		明治5年3月13日／1872	天皇文部省中博物館へ行幸、今般博覧会に出る中外古今の物品を栄覧あらせらる（新雑誌第二十五号）	-	明治大正美術史資料用紙	1枚
G1	17	2			明治11-20	明治15～17年（1882-1884）の出来事を1日につき1枚の用紙に記述したもの。インク、鉛筆手稿、印。明治15年3枚、明治16年10枚、明治17年20枚。	-	明治大正美術史資料用紙	33枚
G1	17	3			明治21-30	明治21～28年（1888-1895）の出来事を1日につき1枚の用紙に記述したもの。インク、鉛筆手稿、印。明治21年1枚、明治22年1枚、明治25年1枚、明治27年8枚、明治28年5枚。	-	明治大正美術史資料用紙	16枚
G1	17	4			明治31-40	明治31～34年（1898-1901）の出来事を1日につき1枚の用紙に記述したもの。インク、鉛筆手稿、印。明治31年1枚、明治32年4枚、明治33年4枚、明治34年5枚。	-	明治大正美術史資料用紙	14枚
G1	18				明治大正美術ニ関シ調査スベキ項目	博覧会、美術図鑑、学校・研究所、博物館・美術館、美術関係諸施設、展覧会、画家、彫刻・工芸家、美術関係者などの固有名詞を挙げている。和文タイプ（？）に手稿。	-	美術研究所用紙	35枚
G1	19				川端玉章（年譜）	天保13年から文久1年までは1枚、文久2年から大正2年まで1年につき1枚の用紙に和暦年と年齢を記し、簿冊に綴じていたもの。未記入。印、インク手稿。ファイルタイトルは簿冊の表紙に従った。同様のものにG4-2、G4-10-1がある。	-	明治大正美術史資料用紙	52枚
G2	1				業務日誌	1日につき1枚の用紙を簿冊に綴じたもの。昭和11年7月11日～12月24日。「外出」の欄のみ記載。隈元、美澄、小高根、西村などの人名が見受けられる。	1936	簿冊	1冊

G2	9	「第二回委員会雑記」	名称は元の封筒の表書きによる。			1 封
G2	9	1 明治大正美術史関係文献目録／美術研究所 明治大正美術史編集部	印刷冊子。表紙書入れ「昭和9年5月31日現在」 「青山」		冊子	1 冊
G2	9	2 「明治大正美術史編纂委員会」	昭和9年6月11日議事録か。インク手書き。		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	9	3 雑誌欠号表	表紙手書き「明治大正美術史関係、雑誌欠号表、 昭和6年6月11日」		孔版印刷	1 綴
G2	9	4 明治大正美術史編纂事業経過及将来ノ方針	表紙手書き「明治大正美術史編纂事業経過及将来 ノ方針、昭和9年6月11日委員会提出」		孔版印刷	1 綴
G2	9	5 委員会報告覚書	インク手書き		原稿用紙	1 枚
G2	9	6 委員長挨拶 要領	インク手書き		文祥堂製原稿用紙	1 枚
G2	9	7 幹事報告	インク、鉛筆手書き		文祥堂製原稿用紙	2 枚
G2	9	8 昭和9年6月11日明治大正美術史編纂委員会 ／委員会順序[覚書]	鉛筆、インク手書き、白紙		美術研究所罫線用紙	1 綴
G2	9	9 出欠葉書（返信）	下村宏、高村光雲、矢代幸雄、香取秀真、結城素 明、和田英作	昭和9年6月	郵便はがき	6 枚
G2	9	10 雑誌欠号表			孔版印刷	1 綴
G2	9	11 明治大正美術史編纂事業経過及将来ノ方針			孔版印刷	2 綴
G2	9	12 明治大正美術史編纂事業経過及将来ノ方針 [下書き]	インク手書き		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	9	13 [施設、展覧会名一覧]	美術に関する施設、学校、展覧会、団体などのリ スト		美術研究所罫線用紙	3 綴
G2	9	14 [事務分掌等覚書]			美術研究所罫線用紙	4 枚
G2	9	15 明治大正美術史編纂要項	インク手書き		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	9	16 [人名一覧]	インク手書き。洋風画、日本画、彫刻家など分野 別人名リスト		美術研究所罫線用紙	13 枚
G2	10	明治大正美術史編纂事業沿革要／美術研究所	美術研究所罫線用紙3ページ＋表紙。元の封筒の 表書きに「帝国美術院」とあり。		孔版印刷	43 綴
G2	11	「昭和9年10月18日及25日：正木院長口述草稿」	インク、鉛筆手書き		美術研究所罫線用紙、原稿用紙	1 括
G2	12	昭和9年6月21日6月26日：正木院長口述：明治 大正美術史概論	インク、鉛筆、毛筆手書き		罫線用紙（美術研究所、美術懇話 会含む）、原稿用紙	1 括
G2	13	「明治大正美術史関係文献目録」他	名称は元の封筒の表書きによる			
G2	13	1 明治大正美術史編纂委員会宛出欠はがき	差出人：和田英作、正木直彦、香取秀治郎、下村 宏、石井柏亭、横山大観	昭和10年12月	郵便はがき	6 枚
G2	13	2 Toshio Suga 夫妻宛年賀はがき	差出人：ジョージ・カール、台北市福住町10-118	昭和13年	郵便はがき	1 枚
G2	13	3 明治大正美術史関係文献目録／美術研究所 明治大正美術史編集部	書入れ「工業画譜第一集15円」、取り消し線		冊子	1 部
G2	13	4 明治大正美術史編纂事業経過報告昭和10年 12月現在	インク手書き		美術研究所罫線用紙	11 枚
G2	13	5 委員会次第	インク、鉛筆手書き		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	13	6 委員会次第昭和10年12月13日	インク、鉛筆手書き		美術研究所罫線用紙	4 枚
G2	13	7 明治大正美術史編纂事業ノ経過及将来ノ方 針	インク、鉛筆手書き		美術研究所罫線用紙	3 枚
G2	13	8 昭和10年12月13日明治大正美術史編纂委員 会、於美術研究所	委員会次第メモ		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	13	9 明治大正美術史編纂事業経過報告概要		昭和10年12月	孔版印刷	1 綴
G2	13	10 明治大正美術史関係文献目録補査		昭和10年12月	孔版印刷	1 綴
G2	14	[無題封筒]				1 封
G2	14	1 明治大正委員会 9月22日	委員会次第、鉛筆書き		美術研究所罫線用紙	6 枚
G2	14	2 人名等覚書	鉛筆、インク手書き		美術研究所罫線用紙	5 枚
G2	14	3 明治大正美術史編纂ニ於ケル資料収集整理 二関スル主ナル事項	孔版印刷に赤鉛筆で書入れ		孔版印刷	3 枚
G2	14	4 正木委員長挨拶	鉛筆、インク手書き		美術研究所罫線用紙	7 枚
G2	14	5 [朝日新聞社長村山龍平より矢代幸雄宛、寄 附金について]	寄付金についての懇談を設けるため、朝日新聞社 へ来社されたい旨	昭和7年3月26日	印刷物	1 枚
G2	19	「青年絵画協会を中心とする明治20年頃より明治 30年頃迄の東京日本画会」座談会記録	明治大正美術史編纂部主催、昭和9年12月8日午 後2時より、於上野精養軒...インク手書き		美術研究所原稿用紙	1 括
G2	20	明治大正美術史編纂事業ノ事業経過及将来ノ方針	4ページ＋表紙		孔版印刷	1 綴
G2	21	明治大正美術史編纂事業経過報告概要	うら表紙に鉛筆にて落書き	昭和13年12月現在	孔版印刷	1 綴
G2	22	明治大正美術史編纂事業沿革要／美術研究所			孔版印刷	1 綴
G2	23	[明治美術名作大展示会出品作品調査及び写真撮影の件]				1 封
G2	23	1 美術研究所行返信はがき	調査、写真撮影承諾の返信	消印：昭和18年2～ 3月	郵便はがき	27 枚
G2	23	2 [明治美術名作大展示会出品作品調査及び写 真撮影許諾願い]	孔版印刷		美術研究所用箋	3 枚
G2	23	3 [作品、所蔵者一覧]	インク、鉛筆手書き		美術研究所罫線用紙	2 枚
G2	23	4 東博第84号「調査ノ上写真撮影之件差支無 之候」（蟲干図、美人弹琴図）	和文タイプ、印	昭和18年3月4日	帝室博物館罫線用紙用箋	1 枚
G2	24	[年譜]	1828（文政11）年～1934（昭和9）年の出来事、 作家の年齢などを記したもの。インク手書き。用 紙欄外に「朝日新聞社寄附事業明治大正美術史資 料 美術研究所」と印刷あり		明治大正美術史資料罫線用紙	1 綴
G2	25	[明治元年～大正15年年譜]	手稿		罫線用紙	7 封
G2	26	「発信」「文書発送簿」／明治大正美術史編集部	起案書等		紙ファイル	1 冊
G2	27	寄贈書受領書簿	革・布張り表紙。挟み込み「正木直彦寄贈図書」 「寄贈寄託」あり。		冊子	1 冊
G2	28	明治大正美術史編纂委員会書類	布張り表紙		冊子	1 冊
G2	29	明治大正美術史編纂部事務報告	布張り表紙		冊子	1 冊
G4	5	明治大正美術史編纂部：購入図書原簿（乙類）	破損大	1933-1937	事務用ノート	1 冊
G4	7	蒐集資料日記／明治大正美術史編集部	挟み込み2枚あり	-	文祥堂ノート	1 冊
G4	8	資料蒐集メモ／明治大正美術史編集部		-	文祥堂ノート	1 冊
G4	17	封筒表題「5. 明大：明治三十年資料」	書写または清書書き、手稿。	-	美術研究所原稿用紙	1 封



東文研史>シリーズ7：関係機関>サブ・シリーズ7.1：美術懇話会関係資料  
資料概要

3.1.2：タイトル	美術懇話会関係資料
3.1.4：記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5：数量と媒体	29ファイル、紙媒体
3.2.1：作成者氏名	東洋美術国際研究会
3.2.4：収集又は移管による入手	「年史関係諸資料一覧(2006.06.21黒田記念館より見つかったもの／2007.08.13追加)」より美術懇話会関係資料を抜粋
3.7.1：担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会）、田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3：記述年月日	2023年3月27日

## 内容一覧

※ 旧字 新字/号数等の数字 算用数字に改める

ラベル	資料名	作成者/著者等	作成年/発行年等	数量	備考
1	美術懇話会報__第34号/ 昭和10年1月	美術懇話会	昭和10年1月21日	5	昭和10年1月26日__美術懇話会開催(於美術研究所) 板谷波山氏蔵髪飾品(櫛、鉢害、簪等)並びに帝室博物館所蔵陳列(参考品)展観及び伊藤赳氏講話/総会講話概要__関野貞「熱河興安両省旅行談」
2	美術懇話会報__第35号/ 昭和10年2月	美術懇話会	昭和10年2月16日	5	昭和10年3月25日__美術懇話会開催(於上野精養軒)__外山英策氏講演会「日本庭園の話」/1月懇話会講話概要__伊藤 赳「髪飾品に就て」
3	美術懇話会報__第46号/ 昭和11年2月	美術懇話会	昭和11年2月22日	5	昭和11年2月29日__美術懇話会開催(於美術研究所)__徳川時代の人形約40点展観及び西澤笛畝講話「徳川時代に発達した人形の話」/1月懇話会講話概要__相見春雨「牧松、周耕、等梅、荔園の面蹟について」
4	美術懇話会報__第47号/ 昭和12年8月	美術懇話会	昭和12年8月21日	5	昭和12年6月12日__美術懇話会開催(於美術研究所)__寒葉斎遺墨30余点、著書、参考品を展観及び西村南岳講話/同月13、14日__公開展観
5	美術懇話会報 第48号/昭和12年9月	美術懇話会	昭和12年9月18日	5	昭和12年9月25日14:00～__美術懇話会開催 (於美術研究所) __下村観山筆下絵類展観及び下村英時講話「父親山に就て」／6月懇話会講話概要__西村南岳「寒葉斎に就て」
6	美術懇話会報 第49号/昭和12年10月	美術懇話会	昭和12年10月19日	5	昭和12年10月23日14:00～__美術懇話会開催 (於美術研究所) __ 広瀬台山遺墨約80点展観及び広瀬哲講話「広瀬台山に就て」/同月24、25日9:00～15:30公開展観 9月懇話会講話概要__下村英時「父親山に就て」
7	美術懇話会報 第50号/昭和12年11月	美術懇話会	昭和12年11月20日	5	昭和12年11月27日14:00～美術懇話会開催(於美術研究所)__満谷国四郎遺作、画稿、習作、素描等約100点展観及び小杉放庵講話/同月29日10:00～16:00公開展観 /10月懇話会講話概要__ 広瀬哲士「広瀬台山に就て」
8	美術懇話会報__第51号/ 昭和12年12月	美術懇話会	昭和12年12月20日	5	昭和12年12月18日 美術懇話会総会開催(於精養軒) 昭和12年12月18日 美術懇話会総会開催(於精養軒) __17:00～総会、18:00～晩餐会、19:30～本間順治(文部省国宝調査嘱託)講演「日本刀剣に就て」/11月懇話会講話概要__小杉放庵「満谷国四郎翁に就て」
9	美術懇話会報 第52号/昭和13年1月	美術懇話会	昭和13年1月15日	5	昭和13年1月20日__美術懇話会1月例会開催(於一ツ橋学生会館) 山崎覚太郎(東京美術学校教授) 講演「パリ博覧会を中心とする欧州一般の工芸に就て」中心とする欧州一般の工芸に就て」及び 16mmフィルム上映/総会講和概要__本間順治「日本の刀剣に就て」
10	美術懇話会報__第53号/ 昭和13年2月	美術懇話会	昭和13年2月12日	5	昭和13年2月18日__美術懇話会開催(於美術研究所)__岡野繁蔵氏蔵東印度遺存古陶磁展観及び斉藤正雄講演「東印度遺存古陶磁と貿易品」/1月懇話会講話概要__山崎寛太郎「パリ博覧会を中心とする欧州一般の工芸に就て」、団伊能「パリ万国博覧会に就て」
11	美術懇話会報__第53号 (54号か?)/ 昭和13年3月	美術懇話会	昭和13年3月21日	5	昭和13年3月26日14:00～__美術懇話会開催(於美術研究所) 堂本印象氏模写大分県富貴寺壁画、美術研究所撮影参考 写真展観及び豊岡益人講演「富貴寺壁画に就いて」/2月懇 話会講演概要__斎藤正雄「東印度遺存古陶磁器に就て」
12	美術懇話会報__第55号/ 昭和13年4月	美術懇話会	昭和13年4月00日	5	昭和13年4月30日__美術懇話会開催(於美術研究所) __浅井忠遺作水彩画、素描等展観__石井柏亭講話「浅井忠の水彩画について」/5月2日9:00～15:00公開展観/3月懇話会講話概要__豊岡益人「富貴寺壁画に就て」
13	美術懇話会報__第56号/ 昭和13年6月	美術懇話会	昭和13年6月00日	5	昭和13年5月21日__美術懇話会開催(於美術研究所) __釈迦三尊並十六羅漢図19幅展観及び田中喜作講話/4月懇話会講話概要__石井柏亭「浅井忠の水彩画について」/5月懇話会講話概要__田中喜作「釈迦三尊と十六羅漢に就て」
14	美術懇話会報__第57号/ 昭和13年7月	美術懇話会	昭和13年7月00日	5	昭和12年度收支決算報告/6月24日__美術懇話会開催(於精養軒)__晩餐会及び有島生馬講話「ヴィラ・ヴィットロアーレに就て」／同講話概要
15	美術懇話会報__第58号/ 昭和13年10月	美術懇話会	昭和13年10月00日	5	昭和13年11月12日__美術懇話会開催(於根津嘉一郎氏邸) __根津嘉一郎氏藏品展観 /10月懇話会講話概要__川端龍子「北支那旅行談」
16	美術懇話会報__第59号/ 昭和13年12月	美術懇話会	昭和13年12月00日	5	昭和13年12月19日__美術懇話会総会開催(於精養軒) __堀口捨巳講話「日本現代建築に就て」/11月懇話会概況
17	美術懇話会報__第60号/ 昭和14年1月	美術懇話会	昭和14年1月00日	5	昭和14年1月21日14:00～美術懇話会開催(於美術研究所)__朝倉文夫収集清朝乾隆時代の硝子器約100点展観及び各務鉦三講演/12月総会報告/12月懇話会概要__堀口捨巳「現代日本建築に就て」
18	美術懇話会報__第61号/ 昭和14年3月	美術懇話会	昭和14年03月00日	5	昭和14年3月4日14:00～__美術懇話会開催(於美術研究所) __桜花写生図展観及び瀧沢邦行講話/同月5、6日9:00～ 15:00公開展観/1月懇話会講話概要__各務鉦三「硝子器に就て」

19	美術懇話会報 第69号/昭和15年12月	美術懇話会	昭和15年12月00日	5	昭和15年12月21日__美術懇話会総会開催(於日本工業倶楽部)__17:00～総会、17:30～晚餐、19:00～矢代幸雄講演「対支那文化政策と美術」・正木篤三講演「現代の支那工芸」/ 10月懇話会概況__10月13日長尾欽弥氏北鎌倉別邸に於る東洋美術収集展観
21	美術懇話会展覧目録(重複分) ファイル	—	—	1	原本、複写コピーを入れたファイル1冊
23	美術懇話会講演記録	—	昭和15年1月20日	1	講演原稿。箱の蓋裏に目録貼付あり
—	美術懇話会展覧目録(画法、画譜類)	美術研究所	昭和7年2月	1	印刷物
—	125周忌記念遺墨展__廣瀬臺山先生年譜__西村南岳編		昭和12年10月	1	印刷物冊子
—	室町時代詩画軸展覧目録__附略年表	東京文化財研究所	昭和28年11月17日	1	孔版印刷冊子
—	美術懇話会一覽	美術懇話会	昭和7年9月30日	1	印刷物冊子
—	美術懇話会第51回原稿	—	—	1	複写コピーB4__8枚。原本は作家ファイル「山本春舉」にあり
—	石川侃斎「月菽図」資料	井上さやか	2007年12月14日	1	プリンタ出力A4__4枚、手書きメモ1枚
—	「美術懇話会主催展覧及び講話等」一覽	—	—	1	プリンタ出力、講演原稿があるものに印入れあり
—	「浄瑠璃寺吉祥天女像」レファレンス資料	井上さやか	2012年1月24日	1	東京芸術大学美術館より問い合わせの調査記録。複写コピー、プリンタ出力、手稿メモ

## 東文研史資料＞シリーズ7：関係団体＞サブ・シリーズ7.2：東洋美術国際研究会関係資料

## 資料概要

3.1.2	タイトル	東洋美術国際研究会関係資料
3.1.4	記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5	数量と媒体	87ファイル、紙媒体
3.2.1	作成者名称	東洋美術国際研究会
3.2.4	収集又は移管による入手先	2005年6月に黒田記念館（隈元謙次郎資料）より見つかったものを2006年8月25日整理。その後追加されたと思われるものを合わせて2023年3月27日一覧表を作成。ラベルに記載された番号は、2021年8月書庫への移動時に既に付与されていたもので、2021～2023年に新たな番号の付与は行っていない。
3.7.1	担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会）、田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年3月29日

## 内容一覧

ラベル番号	資料名	作成者／著者等	作成年／発行年等	備考
1	東文一東洋01	—	昭和21年(1946)08月29日	東洋美術国際研究会解散届
2	東文一東洋02	—	昭和21年(1946)07月20日	解散証明願
3	東文一東洋03	—	昭和21年(1946)06月27日	常務理事会議題解散
4	東文一東洋04	—	昭和20年(1945)	1945年度事業経過報告東洋美術国際研究会
5	退職者関係書類〔__東洋美術国際研究会〕	東洋美術国際研究会	昭和15年4月30日__ 昭和19年6月22日	※美術懇話会リストNo.20 東洋美術国際研究会／辞表、退職関係伺等書類
6	図書原簿__東洋美術国際研究会	東洋美術国際研究会	昭和15年3月31日__ 昭和19年11月20日	※美術懇話会リストNo.21 東洋美術国際研究会／図書資料購入原簿
7	東洋美術国際研究会日記__ 1940.05～	[東洋美術国際研究会]	昭和15年05月01日__ 昭和16年01月16日	東洋美術国際研究会事務日誌／主として寄贈やりとり等
8	東洋美術国際研究会日記	[東洋美術国際研究会]	昭和15年02月20日__ 昭和16年08月26日	東洋美術国際研究会事務日誌／後半__会計簿数頁あり(「支那出張準備」等)
9	[東洋美術国際研究会]日記帳	[東洋美術国際研究会]	昭和16年01月01日__ 昭和17年12月28日	東洋美術国際研究会事務日誌／裏表紙遊び紙署名「M.Hosokawa__Yukio Yashiro」
10	事務日記__昭和16年01月末以降	大串純夫 [東洋美術国際研究会]	昭和16年01月__ 昭和18年07月19日	東洋美術国際研究会出版物編集刊行日誌『画家索引(画家辞典人名)__Index of Japanese Painters』(東洋美術国際研究会、19410000刊)『日本古美術案内__Art Guide of Nippon Vol.01: Nara, Mie and Wakayama Prefectures』(石沢正雄著、東洋美術国際研究会、19430000刊)『東洋美術絵端書__PostCards Sculpture Architecture』(東洋美術国際研究会、19410600刊)／「日本古美術案内__Art Guide of Nippon Vol.02」／「Art Guide of Nippon Vol. 02」(未刊行、中断か)
11	昭和15年度出納簿	[東洋美術国際研究会]	昭和15年度	東洋美術国際研究会会計出納簿
12	昭和16年度出納簿	[東洋美術国際研究会]	昭和16年度	東洋美術国際研究会会計出納簿
13	収入簿	[東洋美術国際研究会]	—	会費納入者名簿／
14	納入品支払(美研→国際)	[東洋美術国際研究会]	昭和16年04月01日__ 昭和18年01月07日	図書資料売買・寄贈？出納簿／美術研究所←→東洋美術国際研究会
15	物品簿	東洋美術国際研究会	昭和14年03月__昭和17年03月	物品管理簿／最後は全て美術研究所・美術学校・個人等に寄贈・売却、及び廃棄の記述がある
16	原簿	—	昭和21年04月12日__ 昭和21年03月31日	会計出納簿／疎開荷物ひきあげ・進駐軍・英文日本年鑑44—45年度等の記述から年代推測
17	原簿	[東洋美術国際研究会]	昭和17年04月01日__	会計出納簿／昭和17年04月22日～昭和18年07月23日付東洋美術研究会職員俸給謝金の出納簿含
18	[人事簿]	[東洋美術国際研究会]	—	ファイル__1冊／履歴書・退職願・人事管理簿原義等
19	スクラップブック	[東洋美術国際研究会]	昭和15年～	英文新聞記事/1940年02月21日～Ellis H. Minnsからの手紙あり
20	国研役員名簿・会員名簿	[東洋美術国際研究会]	昭和15年03月__ 昭和19年03月	「昭和16年03月__東洋美術国際研究会役員名簿」__1冊/「昭和17年09月 東洋美術国際研究会役員名簿」__2冊/「東洋美術国際研究会会員名簿__会費納入控」__1冊
21	会報送附先控	[東洋美術国際研究会]	—	—
22	昭和18年06月__出版物寄贈控(配達分)	東洋美術国際研究会	昭和18年06月__	会報34号～39号分/帝室博物館図書室・東京美術学校文庫・帝国図書館 寄贈分
23	昭和18年11月__案内記頒布控__要保存	東洋美術国際研究会	昭和18年11月__	日記・寄贈・割引・定価__頒布先一覧/昭和19年06月20日付メモ__1枚つき
24	各地出張領収書綴__昭和17年06月～07月:京北出張受領集	[東洋美術国際研究会]	昭和17年06月__07月	出張にかかった費用の各領収書__複数枚
25	各地出張領収書綴__昭和18年10月:福井出張	[東洋美術国際研究会]	昭和18年10月	出張にかかった費用の各領収書__複数枚
26	各地出張領収書綴__昭和19年03月:岐阜愛知出張	[東洋美術国際研究会]	昭和19年03月	出張にかかった費用の各領収書__複数枚
27	各地出張領収書綴昭和19年05月福井出張	[東洋美術国際研究会]	昭和19年05月	出張にかかった費用の各領収書__複数枚
28	各地出張領収書綴__昭和19年07月前橋出張	[東洋美術国際研究会]	昭和19年07月	出張にかかった費用の各領収書__複数枚
29	各地出張領収書綴__封筒:伝票	[東洋美術国際研究会]	～昭和21年11月	入金伝票・出勤伝票__複数枚

30	各地出張領収書綴__封筒:出欠葉書	[東洋美術国際研究会]	昭和21年07月	昭和21年07月16日開催:東洋美術国際研究会(於上野精養軒)__出欠回答葉書・委任状
31	各地出張領収書綴__封筒:受領書	[東洋美術国際研究会]	昭和21年度	昭和21年07月前後__俸給等謝金受領書__複数枚/費用受領書__複数枚
32	会計関係書類(バラ)→ファイルブックへ	[東洋美術国際研究会]	昭和20年～昭和22年	昭和21年04月付火災保険契約証20127号__04月03日～06月08日、古代美術衣裳136点(リスト63点)/昭和20年度事業経過報告/昭和21年07月__東洋美術国際研究会解散関係書類/昭和22年日付東洋美術国際研究会宛__封書__数通
33	封筒のみ	—	—	—
34	Bulletin of Eastern Art__Number 37__No.1, 1943	The Society of Friends of Eastern Art	昭和18年12月10日	日本語誌名等:「ブレチン・オブ・イースタン・アート」37号(昭和18年1月13日号)__編集兼発行人「美術研究所内東洋美術国際研究会内・石澤正男
35	Bulletin of Eastern Art__Number 38__No.2, 1943	The Society of Friends of Eastern Art	昭和18年3月30日	日本語誌名等:「ブレチン・オブ・イースタン・アート」37号[38号の誤記](昭和18年4月16日号)__編集兼発行人「美術研究所内東洋美術国際研究会内・石澤正男
36	Special Exhibition at the Inauguration of The Society of Friends of Eastern Art	The Society of Friends of Eastern Art	昭和00年2月20日	東洋美術国際研究会主催特別展__於華族会館/蜂須賀正氏所蔵「紫式部日記絵巻」・毛利元通所蔵「雪舟画巻」・団伊能所蔵「光悦下絵宗達画巻」
37	Bulletin of Eastern Art__No.25-36 (January-December, 1942)	The Society of Friends of Eastern Art	昭和17年	「ブレチン・オブ・イースタン・アート」25-26号表紙及び目次
38	Bulletin of Eastern Art, Supplement to No.7-8	The Society of Friends of Eastern Art	—	「Imperial Museum News」(野間清六)部分ページ
39	Bulletin of Eastern Art, Supplement to No.12	The Society of Friends of Eastern Art	昭和16年1月00日	「Imperial Museum News」(野間清六)部分ページ
40	Bulletin of Eastern Art, Supplement to No.13	The Society of Friends of Eastern Art	昭和16年2月00日	「Imperial Museum News」(野間清六)部分ページ
41	Bulletin of Eastern Art, Supplement to No.14	The Society of Friends of Eastern Art	昭和16年3月00日	「Imperial Museum News」(野間清六)部分ページ
42	Masterpieces of Eastern Art Japanese Art, Series IV	The Society of Friends of Eastern Art	昭和18年3月25日	日本語誌名等:「東洋美術資料__日本美術第4号」__東洋美術国際研究会発行
43	The Albums of Koetsu's SHIKISHI in the Ostasiatische Sammlung in Berlin	The Society of Friends of Eastern Art	昭和15年6月25日	日本語誌名等:矢代幸雄著「ベルリン東亜美術館所蔵光悦色紙帖__英文解説」__東洋美術国際研究会
51～73	Bulletin of Eastern Art	The Society of Friends of Eastern Art	昭和15年1月～18年6月28日	No.1～36(欠号:3, 10, 11, 13, 14)
74	Masterpieces of Eastern Art Japanese Art, Series II	The Society of Friends of Eastern Art	昭和17年3月5日	日本語誌名等:「東洋美術資料__日本美術第2輯」__東洋美術国際研究会発行
—	Bulletin of Eastern Art No.25-36 (JANUARY-DECEMBER, 1942)	The Society of Friends of Eastern Art	—	25～35-36合冊号の目録。活版印刷1枚。
—	[東洋美術国際研究会日誌]	[金子氏か]	昭和18年前後か	東洋美術国際研究会事務日誌/主として翻訳関係/※2006年12月21日 黒田記念館地下書庫より発見→本リストに追加
—	東洋美術国際研究会規則	東洋美術国際研究会	昭和15年1月	印刷物冊子体(2冊)
—	東洋美術国際研究会役員名簿		昭和16年3月	印刷物冊子体(2冊)書き込みあり
—	東洋美術国際研究会役員名簿		昭和16年3月	印刷物冊子体(3冊)昭和16年3月発行の冊子に手稿にて訂正を加え、昭和17年9月と改めたもの
—	時代衣装展観目録	東洋美術国際研究会	昭和17年11月	複写コピーおよび書誌情報プリンタ出力
—	天羽英二調査資料	—	—	天羽英二についてのウェブ上の情報、書誌調査のプリンタ出力一括
—	昭和15年度(18)文化施設並研究助成民俗思想研究並刊行事業助成	—	—	外務省外交史料館よりプリンタ出力、A4__4枚
—	2.東洋美術国際研究会ノ支那美術及美術工芸調査研究事業助成昭和15年度	外務大臣松岡洋右、三谷文化事業部長	昭和15年8月31日	外務省外交史料館よりプリンタ出力、A4__2枚
—	研究助成関係雑件第10巻(表紙)	—	—	外務省外交史料館よりプリンタ出力、A4__4枚
—	時代衣装絵葉書第一輯	東洋美術国際研究会	—	絵葉書8葉、封筒入り(中島泰成閣印刷)
—	時代衣装絵葉書第二輯	東洋美術国際研究会	—	絵葉書8葉、封筒入り(中島泰成閣印刷)
—	時代衣装展観目録	東洋美術国際研究会	昭和17年11月	印刷物冊子体1冊
—	Post Card of Eastern Art	The Society of Friends of Eastern Art	—	封筒入り絵葉書8封
—	東洋美術絵葉書	The Society of Friends of Eastern Art	—	ファイル1冊(絵葉書79枚、封筒1枚)、解説文、リスト付き
—	東洋美術絵葉書一覧	The Society of Friends of Eastern Art	—	参考:『本文編』p.467「5 東洋美術絵端書の発行」
—	Special Exhibition at the Inauguration of the Society of Friends of Eastern Art	東洋美術国際研究会	1940年	華族会館にて1940年2月20日に行われた展覧会目録
—	『東京文化財研究所七十五年史』原稿	[東京文化財研究所七十五年史編集委員会]	—	原稿下書きと思われるプリンタ出力A4__11枚
—	東洋美術国際研究会写真カード①	東洋美術国際研究会	—	封筒表書き「2009.8黒田にて発見」。ベタ焼写真を貼付した葉書大の写真台帳、封筒1封。
—	東洋美術国際研究会写真カード②	東洋美術国際研究会	—	封筒表書き「2009.8黒田にて発見」。ベタ焼写真を貼付した葉書大の写真台帳、封筒1封。

東文研史資料＞シリーズ7：関係機関＞7.6：華族会館関係資料  
資料概要

3.1.2：タイトル	華族会館関係資料
3.1.4：記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5：数量と媒体	9ファイル、紙媒体
3.2.1：作成者氏名	下記「内容一覧」の「作成／著者等」欄を参照
3.2.4：収集又は移管による入手	「年史関係諸資料一覧(2006.06.21黒田記念館より見つかったもの／2007.08.13追加)」より華族会館関係資料を抜粋。2021年8月書庫に移動後、未採録資料を一覧に追加した。
3.7.1：担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会） 田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3：記述年月日	2023年3月27日

内容一覧

※ 旧字 新字/号数等の数字 算用数字に改める

資料名	作成者/著者等	作成年/発行年等	数量	備考
自昭和6年度至昭和14年度__特別費	美術研究所	昭和6年5月4日__ 昭和18年4月19日	1	領収書等会計関係、簿冊。
特別費会計簿__昭和6年起__主任用	美術研究所__主任	昭和6年5月30日__ 昭和18年4月27日	1	美術研究所特別費関係会計簿/木下・和田新・隈元謙次郎・菅沼貞三ほか引継署名あり。冊子体
昭和14年度以降__雨潤会会計書類__改称陸奥研究費	美術研究所	昭和14年4月26日__ 昭和19年8月3日	1	会計書類/主として梅津次郎の絵巻物調査・資料購入費関係/※雨潤会...古賀潤吉(陸奥宗光)次男、古河市兵衛養子、古河合名会社2代目)の遺産による事業団体。美術・医学・文芸・慈善等。1919年、黒田清輝が古河合名会社3代目虎之助後見木村長八の肖像を描いている。
精神科学研究奨励金	美術研究所	昭和14年8月3日__ 昭和19年6月29日	1	精神科学研究奨励金申請通知関係書類/昭和14年度～菅沼貞三「渡辺華山ヲ中心トシタル日本文人画ノ研究」/昭和16年度～隈元謙次郎「明治以降発達史研究」/昭和18年度～河北倫明「近代日本画ノ研究」
[雑簿]	—	昭和22年__昭和24年頃	1	雑書類/国立博物館時代の書類多数
Special Ehibition at the Inauguration of the Society of Friends of Eastern Art	東洋美術国際研究会	1940年	1	華族会館にて1940年2月20日に行われた展観会目録
尚友倶楽部、霞会館関係資料	[東京文化財研究所七十五年史編集委員会]		1	プリンタ出力、コピー、名刺、封筒
雨潤会調査資料	[東京文化財研究所七十五年史編集委員会]		1	プリンタ出力A4__6枚
陸奥資金購入図書目録	—	—	1	原稿用紙に手稿原稿用紙を綴じたもの

東文研史資料＞シリーズ7：関係機関＞サブ・シリーズ7.8：国際文化振興会関係資料

資料概要

3.1.2	タイトル	国際文化振興会関係資料
3.1.3	年代域	1934年～[1951]年
3.1.4	記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5	数量と媒体	冊子14点
3.2.1	作成者名称	下記「内容一覧」の「作成」欄を参照
3.2.3	伝来	2021年7月まで部長室にあるファイリング・キャビネットにて保管。2021年7月31日～8月1日に資料閲覧室書庫へ移動。
3.3.1	範囲・内容	『東京文化財研究所75年史』編纂事業のために収集、調査した国際文化振興会に関する資料。
3.4.3	言語・スクリプト	英語、日本語
3.4.4	物理的特徴・技術要件	"Dr. Henry de Laszlo's Coloured Slides"以外は冊子印刷物
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体の一覧は、資料閲覧室にて貸出可能。
3.7.1	担当者	東京文化財研究所七十五年史編集委員、田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年3月23日

内容一覧

資料名	作成者／著者 等	数量	作成年／発行年 等	備考
Forum on Japanese Culture, Lake Yamanaka, July, 1937	Kokusai Bunka Shinkokai(The Society for International Culture Relations) (国際文化振興会)	1冊	1937年8月7日 (A Recordによる)	1937年07月29日～30日 国際文化振興会主催__Forum on Japanese Culture講演記録 /NACSIS有/東文研無
対外文化工作に関する協議会要録第4輯__伊太利	財団法人国際文化振興会	1冊	昭和12年	昭和12年11月15日午後06時__於東京倶楽部 / NACSIS __要録3、5～8輯有、 4輯無/東文研無 ⑧
On Japanese Art__Comparative Observations on Far-Eastern and Western Art	著者: Giacinto Auriti/発行: 1937 Kokusai Bunka Shinkokai(国際文化振興会)	1冊	1937年5月 (Forewordによる)	NACSIS有/東文研無/[国際文化振興会講演録__日本美術-東西美術比較研究__Record of the lecture held on May 27, 1936]
Catalogue of Industrial Art Goods of Japan : The International Exhibition of Atrs	The Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	1934年	1934年10月14日～28日ヨハネスブルグでの展覧会カタログ
Ancient Japan in the Light of Anthropology	Dr. Ryozo Torii, Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	1935年	日本語奥付：昭和11年1月20日発行、国際文化振興会講演録、鳥居龍蔵氏述、財団法人国際文化振興会
Masks of Japan : The Gigaku, Bugaku and Hoh Masks	Professor Toyoichiro Nogami of The Kyushu Imperial University, Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	1935年	裏表紙うら：K.B.S. Publications Series-B No 7.
A Gagaku Concert given by the Orchestra of the Ministry of the Imperial Household : Thursday, October 18th, 1934 at the Imperial Hotel Auditorium	Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	[1934]	プログラム、解説、図版（写真）
Human Elements in Ceramic Art	Kikusaburo Fukui, Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	1934	
Development of the Japanese Theatre Art	Shigetoshi Kawatake : Director of Theatre Museum of Waseda University, Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	1935	
Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations) Prospectus and Scheme	Kokusai Bunka Shinkokai (The Society for International Culture Relations)	1冊	[1934]	
財団法人国際文化振興会第七回評議員会議事録	—	1冊	[1936]	
財団法人国際文化振興会第九回評議員会議事録	—	1冊	[1937]	
Dr. Henry de Laszlo's Coloured Slides	—	B5__2枚	[1951]	スライド目録1～50番。孔版印刷
日本美術幻燈板目録__昭和13年06月	発行：財団法人国際文化振興会	1冊	昭和13年6月3日 (1951)	非売品／はしがき「昭和13年04月」→NACSIS「4月」発行のものとして有/東文研無

東文研史資料＞シリーズ7：関係機関＞7.10：啓明会関係資料  
資料概要

3.1.2：タイトル	啓明会関係資料
3.1.4：記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5：数量と媒体	13冊、2ファイル。紙媒体
3.5.3：関連記述単位	東文研年史資料＞シリーズ7：関係機関＞7.11：未延財団関係資料＞「未延財団補助金出納簿__啓明会__昭和9年5月起」 東文研年史資料＞シリーズ3：歴史資料＞C29「書類バラ__啓明会宛__1月27日発」 東文研年史資料＞シリーズ4：美術研究所設立期関係資料年代順＞サブ・シリーズ4.1：美術研究所設立期関係資料年代順＞1941（昭和16）年＞公文-035「啓明会」
3.2.4：収集又は移管による入手	「年史関係諸資料一覧(2006.06.21黒田記念館より見つかったもの／2007.08.13追加)」より啓明会関係資料を抜粋
3.7.1：担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会） 田村彩子（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3：記述年月日	2023年3月29日

内容一覧

※ 旧字 新字/号数等の数字 算用数字に改める

資料名	作成年/発行年等	数量	備考
啓明会補助金__出納簿		1	啓明会補助金会計簿。昭和5年4月21日__昭和8年12月27日
財団法人啓明会第15回昭和8年度事業報告書		1	14, 18, 21回は蔵書として登録済み
財団法人啓明会第19回昭和12年度事業報告書		1	14, 18, 21回は蔵書として登録済み
紀要第10号__駒沢大学教授笠森伝繁君報告_仏独白諸国農村の瞥見		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168795">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168795</a>
紀要第15号__荒木茂氏蒐集・田中於菟弥氏編述_波斯関係図書目録 (A Catalogue of Books Relating to Persia)		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168797">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168797</a>
紀要第20号__文学博士中村孝也述_国史教育の改善		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168800">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168800</a>
第14回講演集__燉煌出土古写仏典に就いて		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000AA2973">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000AA2973</a>
第54回講演集__世界に於ける日本美術の位置_矢代幸雄講演		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=900AA22200">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=900AA22200</a>
第55回講演集__朝鮮の陶器:朝鮮工芸の東洋文化に於ける地位_倉橋 藤治郎講演		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168817">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168817</a>
第61回講演集__文化史上より観たる古代ギリシャ人と日本人		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168821">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168821</a>
第66回講演集__印度文化の大観		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168825">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168825</a>
第65回講演集__社会事業と仏教_辻善之助講演		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168824">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168824</a>
第76回講演集__四川省の真相に就いて_神田正雄講演		1	<a href="https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168828">https://opac.tobunken.go.jp/detail?bbid=9000168828</a>
「啓明会事業報告書」より「西方亜細亜美術研究」（青山新）、 「東洋美術総目録編纂」（正木直彦）		1	複写コピー。第14回、第15回、第18回、第19回、第20回 事業報告書より。
与那原恵「日本初の学術財団「啓明会」と赤星家」（上）（下）		1	『東京人』329-330（2013.09-10）より複写コピー

東文研史資料＞シリーズ7：関係機関＞7.11：末延財団関係資料  
資料概要

3.1.2：タイトル	末延財団関係資料
3.1.4：記述レベル	サブ・シリーズ
3.1.5：数量と媒体	3ファイル、紙媒体
3.2.4：収集又は移管による入手	「年史関係諸資料一覧(2006.06.21黒田記念館より見つかったもの／2007.08.13追加)」より末延財団関係資料を抜粋
3.7.1：担当者	井上さやか（東京文化財研究所七十五年史編集委員会）
3.7.3：記述年月日	2023年3月29日

内容一覧

※ 旧字 新字/号数等の数字 算用数字に改める

資料名	作成者/著者等	作成年/発行年等	数量	備考
昭和14年4月起__末延財団__光琳研究費会計書類		昭和14年9月20日__昭和17年3月31日	1	末延財団補助金による光琳研究／領収書等会計関係
昭和14年4月起__末延財団__会計書類		昭和13年6月__8月	1	「末延財団昭和14年度会計とす」とある／旅費領収書等会計関係
末延財団補助金出納簿__啓明会__昭和9年5月起		昭和9年5月21日__昭和18年6月14日	1	末延財団補助金会計簿/啓明会会計簿(昭和11年11月16日 __昭和15年2月29日 ㄨ)